

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

「オープンジョブKIKUCHI！福祉のシゴト」を開催



1月13日(土)、菊池市福祉会館で「オープンジョブKIKUCHI！福祉のシゴト」を開催し、福祉の仕事に興味を持つ学生や転職を考える求職者など10名が参加しました。オープニングの講話では、高齢者施設代表として特別養護老人ホーム矢筈荘生活相談員小澄充典氏、障害者施設代表として菊愛会地域生活支援事業部あおぞら生活支援員大石智香子氏から、福祉職の魅力ややりがい、就職に向けての心構えやアドバイスが語られました。

その後、菊池地域の福祉施設6事業所が出展するブースでは、福祉の職場への就職を希望する求職者などが、事業所の職員と、仕事内容や待遇、職場の環境などについて面談し、事業所見学にも積極的に参加しました。

このイベントは、求人事業所と求職者とのマッチングの機会になっただけでなく、参加者の中には小学生の姿もあり、次世代の担い手との交流の場となりました。

「知っておくべき会計処理」を学ぶ ～社会福祉法人会計実務(決算)研修会～



【立石和裕氏】

1月29日(月)、県医師会館で「社会福祉法人会計実務(決算)研修会」を開催し、社会福祉法人の役員や施設長、事務担当者等119名が参加しました。

研修会では、本会の社会福祉法人経営相談事業専門相談員で公認会計士の立石和裕氏から、決算前に知っておくべき不適切な会計処理に関することやインボイス制度、電子帳簿保存法などについて、事例を交えながらお話しいただきました。参加者からは、「制度の仕組みを理解することができた」、「タイムリーな内容で、すぐに役立つのでありがたい」などの感想が寄せられました。



評議員1名を選任 ～第2回評議員選任・解任委員会～

第2回評議員選任・解任委員会を書面で開催し、評議員1名が選任されました。任期は、令和6年2月1日から令和6会計年度に関する定時評議員会終結の時までとなります。【敬称略】

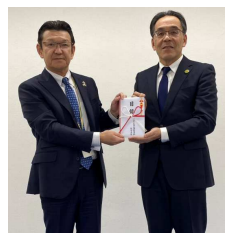
役名	氏名	主たる役職名
評議員	きく ずみ ゆき え 菊 住 幸 枝	県ひとり親家庭福祉協議会 会長

車椅子寄贈並びに寄附のお礼 ～明治安田生命相互会社熊本支社様～

1月31日(水)、明治安田生命相互会社熊本支社様から、市町村社協及び本会へ車椅子合計6台の寄贈と、本会へのご寄附をいただきました。

今回寄贈いただいた車椅子は、外出機会の少ない高齢者や障がい者の方々への貸出しや外出支援、福祉教育など、様々な福祉活動に活用させていただきます。

また、ご寄附いただきました浄財は、社会福祉事業の振興などに有効に活用させていただきます。



【寄贈先社協】山鹿市、宇土市、宇城市、菊陽町、御船町及び本会

【左：須藤熊本支社長】

地域福祉権利擁護事業生活福祉支援員等研修会を開催

1月24日(水)、県総合福祉センターにおいて「地域福祉権利擁護事業生活支援員等研修会」を開催し、市町村社協の事業担当職員や生活支援員37名が参加しました。

研修会では、熊本市障がい者相談支援センター絆の平田晴彦センター長を講師に迎えて、「地域福祉権利擁護事業における障がい者支援の技法等について」をテーマに、講義やグループワークを交えてお話しいただきました。

障がい福祉サービスの概要や、障がいの特性の理解、利用者の自己決定への寄り添い方などについて、参加者からは、「障がい福祉サービスと介護保険サービスの違いがはっきり分かって良かった。」、「意思決定支援の重要性を学んだと同時に、本人の生活を支える難しさも感じ、今後も考え続けていきたい。」、「事例を通したグループワークで、今後の業務に活かせる意見を聞いてとても参考になった。」などの感想が寄せられました。



多重債務と家計改善等支援の在り方を学ぶ ～生活困窮者自立支援制度人材養成研修会～



1月23日(火)、生活困窮者自立相談支援事業に関わる相談支援員、就労支援員、就労支援準備事業従事者の養成のため、「生活困窮者自立支援制度人材養成研修会」をくまもと県民交流館パレアで開催し、33名が参加しました。

研修会では、本会からの制度説明の後、熊本共同法律事務所の藤井祥子弁護士から多重債務における現状や課題について、社会福祉法人グリーンコープの村上浩勝本部長から家計改善支援の仕組みについて、それぞれ講義がありました。

午後からは、嘉島町社協の村上祐香氏、南小国町社協の佐藤圭太氏、グリーンコープの中島明美氏の三者から実践報告をいただき、パネルディスカッションを行った後、各参加者から提出された事例検討シートをもとに具体的な支援内容についてグループ協議を行いました。

参加者からは、「事例検討が刺激になった」、「支援の方法や関わり方等が勉強になった」などの感想が寄せられ、今後の支援活動に活かすことのできる研修となりました。

介護の仕事「基礎講座」(全3回)を開催

1月27日(土)、介護の基礎知識を学びたい方や、介護職に就きたい方を対象に、介護の仕事「基礎講座」を県総合福祉センターで開催し、求職者等29名が参加しました。本年度は7月・10月とあわせ、全3回開催し、延べ65名が参加しました。第1回は熊本市高齢者支援センターささえりあ帯山のセンター長芹川真寿美氏、第2～3回は紫藤社会福祉士事務所認定社会福祉士紫藤千子氏が講師を務めました。

講座では、介護に関する基礎知識として、介護に関する相談機関、介護保険制度、仕事と介護の両立支援事業などを学びました。また、介護の基本技術として、介護における安全・安楽な体の動かし方(ボディメカニクスの活用)、介護予防・認知症予防に使える体操などを取り上げました。

受講者からは「介護に関する基礎知識を身につけることができた」「介護の現場で役立つ知識や技術を学べた」などの声が寄せられました。



介護の仕事「基礎講座」

人材確保に関する各種貸付金事業について

地域における福祉・介護・保育人材の確保や定着を支援するため、介護福祉士修学資金等貸付事業、保育士修学資金等貸付事業及び福祉系高校修学資金等貸付事業を実施しています。

	事業名	決定数	決定金額
令和5年度 実施状況	介護福祉士修学資金等貸付事業	194人	58,655,380円
	保育士修学資金等貸付事業	112人	149,271,000円
	福祉系高校修学資金等貸付事業	6人	2,170,000円
	計	312人	210,096,380円

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務企画課 TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	福祉資金課 TEL 096-223-6762 / FAX 096-324-5456
◆特別賛助会員入会のご案内◆ 本会の目的である本県の地域福祉の推進のためには、県民のみなさまをはじめ、企業、団体の皆様の主体的なご協力が必要です。多くの皆様のご賛同をいただき、目的達成のために特別賛助会員として入会いただきますようお願いいたします。 ※詳細は、当課へお問合せいただくか本会ホームページをご確認ください。	◆児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付規程の一部改正を行いました◆ 進学者で生活支援費の貸付を希望する方または貸付中の方で、定期的に医療機関を受診する場合、生活支援費の貸付期間のうち2年間まで、医療費などの実費相当額を追加申請できるようになりました。(適用日:令和5年4月1日) ※詳細は、当課へお問合せください。
地域福祉課 TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440	地域福祉権利擁護センター TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
◆市町村社協経営基盤強化研究会のご案内◆ 日時 令和6年3月13日(水) 13:50~17:00 場所 熊本城ホール 3階 会議室B 講師 龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 特任教授 山口浩次氏 (元 滋賀県大津市社会福祉協議会 事務局次長) 内容 社協における人材確保・育成 (求められる人材、キャリアデザインについて等)	◆成年後見制度利用促進研修会のご案内◆ 日時 令和6年2月22日(木) 13:00~16:10 方法 オンライン 対象 市町村社協、社会福祉事業所、精神科病院、地域包括支援センター、金融機関等 内容 成年後見制度の概要と県内の現状を知り、同制度が地域で果たす役割について学びます。 ※詳細は本会ホームページをご確認ください。
ボランティアセンター TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	施設団体支援課 TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440
◆災害ボランティア活動ガイドブックのご案内◆ 災害ボランティア活動の心得等について記した『災害ボランティア活動ガイドブック』の改訂版を作成し配付しています。 災害ボランティア活動を行われる際には、ぜひご一読ください。 ガイドブックは、ホームページからもダウンロードが可能です。	◆生計困難者レスキュー事業 CSWフォローアップ研修会のご案内◆ 日時 令和6年3月6日(水) 13:30~16:40 会場 熊本県総合福祉センター「研修ホール」 講師 兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等 連絡会 代表 澤村 安由里氏 対象者 レスキュー事業実施法人の担当職員等 定員 60名 参加費 1人3,000円
福祉人材・研修センター TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	
◆社会福祉従事者研修のご案内◆ 本会では、社会福祉従事者研修事業として、専門職に必要な知識・技術を習得するための「課題別研修」や、経験年数や職責に応じて段階的・継続的に学ぶ「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」を実施しています。 令和6年度も新たな企画をご用意していますので、職員の育成や定着、組織力向上のためのOFF-JTとして、ぜひご活用ください。	◆ウェブCMのご案内◆ 福祉人材・研修センターでは、事業の認知拡大と利用促進を目的に、ウェブCMの配信を行っています。 YouTubeチャンネルにもアップしていますのでぜひご覧ください。

